

2022年12月6日

通貨ニュース

新興国:ブラジルで目立つ PMI 低下

S&P Global 社が集計するグローバル購買担当者指数 (PMI) によれば、11 月製造業 PMI は 48.8 と前月 (49.4) からさらに低下した。先進国では生産と新規受注が引き続き悪化。新興国は新規受注がやや持ち直すも、いずれも拡大/縮小の目安となる 50 を依然下回っている (図表 1、2)。また、11 月非製造業 PMI も 48.1 と前月 (49.2) からさらに低下。活動指数は先進国 (47.5)、新興国 (49.2) とともに前月比で低下したほか、新興国の新規受注は 50 を割り込んだ。

これらを合わせたコンポジット PMI は 48.0 と前月 (49.0) からさらに悪化。8 月以降、50 割れが続く。世界経済の実質 GDP 成長率は、7~9 月期もしくは 10~12 月期にも前期比マイナスに落ち込む可能性が示唆される (図表 3)。

世界的な需要の減退により、貿易活動は減速が予想される。グローバル製造業 PMI の新規輸出受注指数 (46.2) は前月比横ばいも、コロナショック時を除けば、2009 年以降で最低の水準に近い。特に、米欧を中心に先進国の落ち込みが目立つ (図表 4)。現状のところ、世界の貿易量に顕著な落ち込みは確認できないものの、これには足許で供給制約が大きく改善したことも考慮する必要がある (図表 5)。この効果が一巡してくると、貿易量減少が顕在化してこよう。

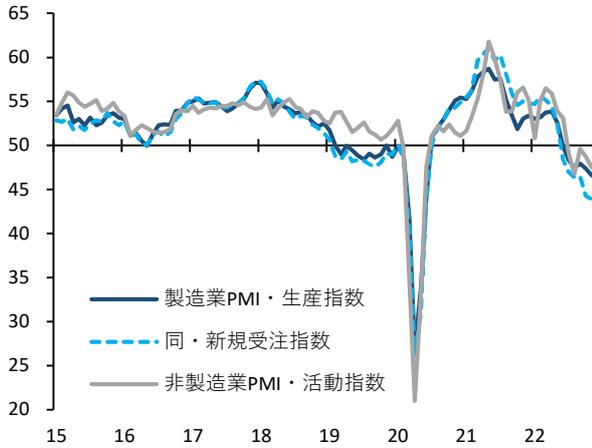
需要減退と供給制約改善は在庫を巡る企業マインドも変えつつある。グローバル製造業 PMI の原材料在庫指数 (49.8) は 2020 年 5 月以来の 50 割れとなった。在庫購入数量指数 (45.5) もさらなる低下が続く。11 月は先進国と新興国のいずれもで、両指数の 50 割れが確認された (図表 6、7)。先進国では製品在庫指数が 50 超 (在庫増) を保っていることについては、急速な在庫積み上げていた中で需要が減退したことによる、意図せざる在庫増の可能性もあろう。いずれにせよ、生産見通し指数からは先行きへの慎重姿勢がうかがえる (図表 8)。

なお、個別の新興国では、ブラジルの製造業 PMI が急速に悪化 (50.8→44.3) した (図表 24)。生産 (51.6→43.7)、新規受注 (48.3→38.9) の急低下が寄与した。新規輸出受注 (45.7→37.6) の変化は上述の世界的な需要減退を象徴するようにみえる。もっとも、非製造業 PMI (54.0→51.6) もそれなりに低下している。大統領選を経ての経済政策見直しへの懸念も一定程度反映されたものと考えたい。また、台湾の製造業 PMI (41.6) も低迷が続く (図表 12)。2023 年の半導体市況はマイナス成長に至るとの見通しの中、中国経済が持ち直しに時間を要している点が重しのような。その中国は製造業 PMI (49.4) が前月比やや持ち直しも、非製造業 PMI (46.7) は一段と低下 (図表 9)。ただ、足許ではゼロコロナ政策緩和の動きも出てきており、12 月の PMI を改善させることになりそうだ。

一方で、インドは製造業/非製造業ともに PMI 指数は比較的高い水準を保っている (図表 19)。生産や新規受注が前月比で小幅上昇、新規輸出受注や原材料在庫も高水準と、他国とは一線を画す状況。引き続き、経済持ち直しが他国とラグをもって生じたこと、地政学的な恩恵の享受等が背景にあるとみられる。

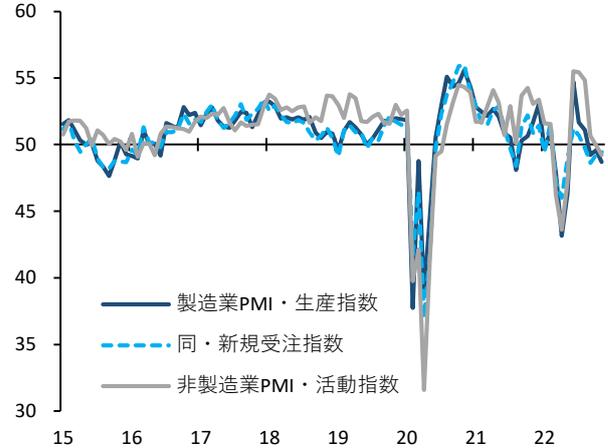
市場営業部
マーケット・エコノミスト
堀内 隆文
03-3242-7065
takafumi.horiuchi@mizuho-bk.co.jp

図表 1: 先進国



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 2: 新興国



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 3: グローバルのコンポジット PMI と GDP 成長率



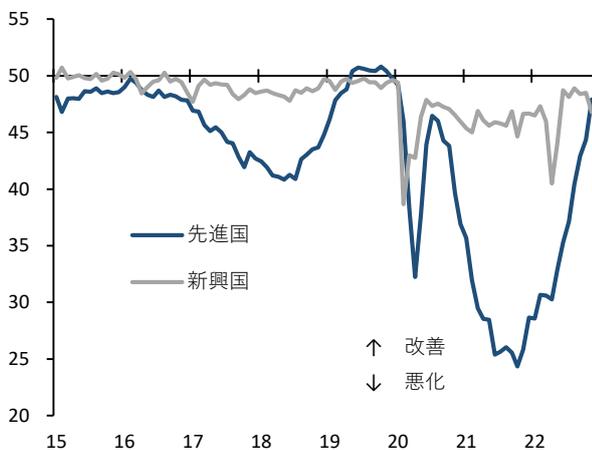
出所: S&P Global、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 4: 製造業 PMI・新規輸出受注指数と世界の貿易量



(注) 貿易量は直近3か月とその前の3か月とを比較した伸び率
出所: S&P Global、CPB、ブルームバーグ、みずほ銀行

図表 5: 製造業 PMI・入荷遅延指数



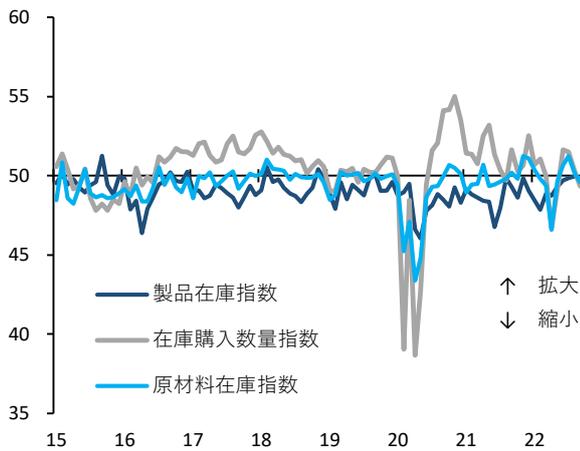
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 6: 先進国の製造業 PMI・在庫関連指数



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 7: 新興国の製造業 PMI・在庫関連指数



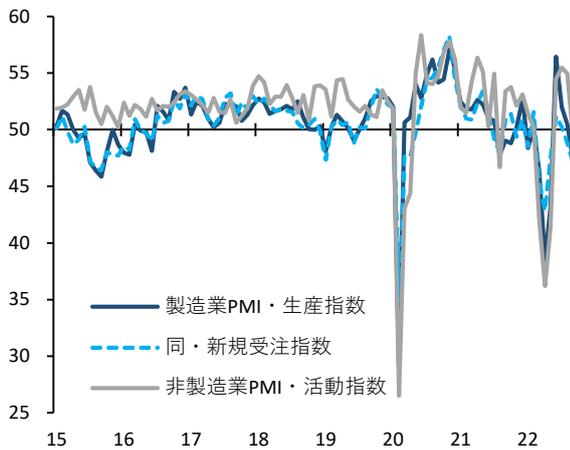
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 8: 製造業 PMI・生産見通し指数



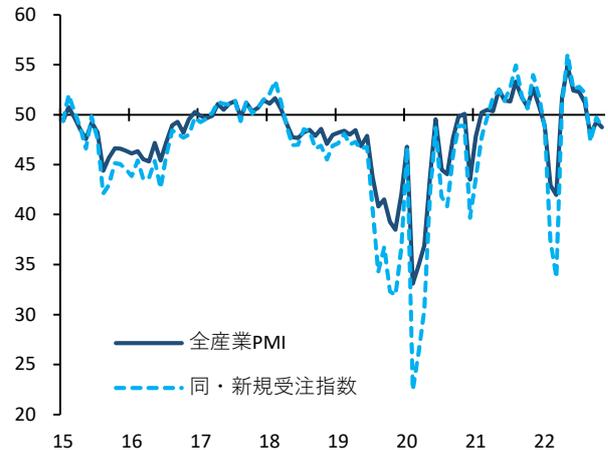
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 9: 中国



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 10: 香港



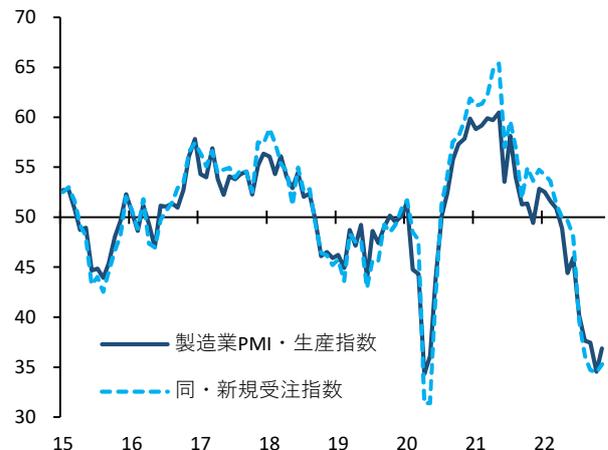
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 11: 韓国



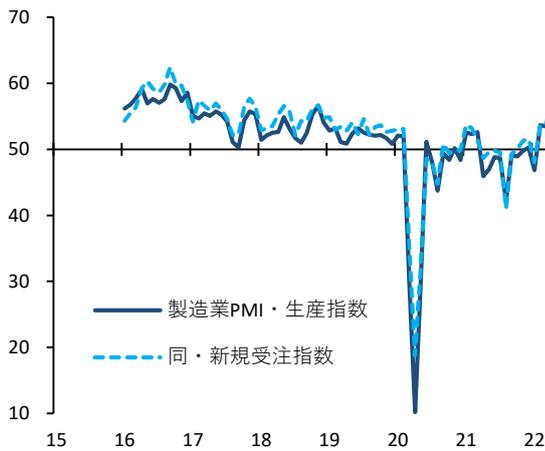
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 12: 台湾



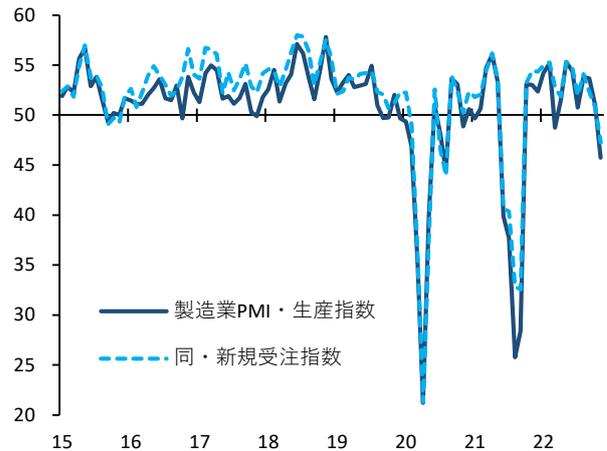
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 13: フィリピン



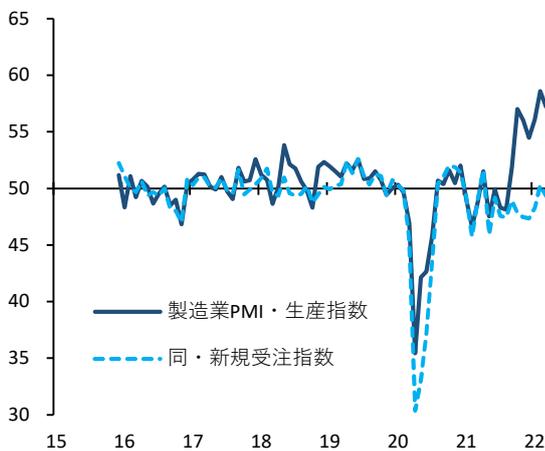
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 14: ベトナム



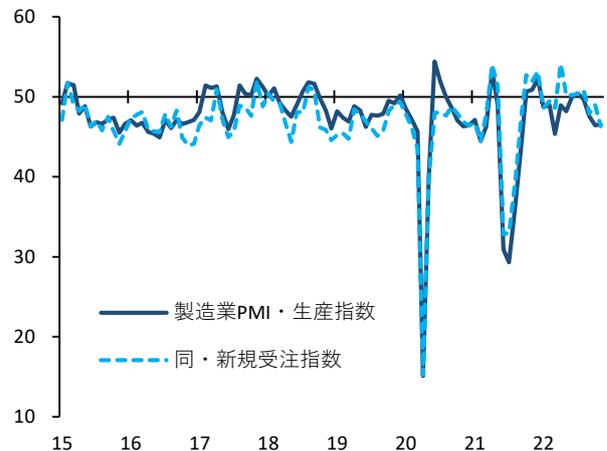
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 15: タイ



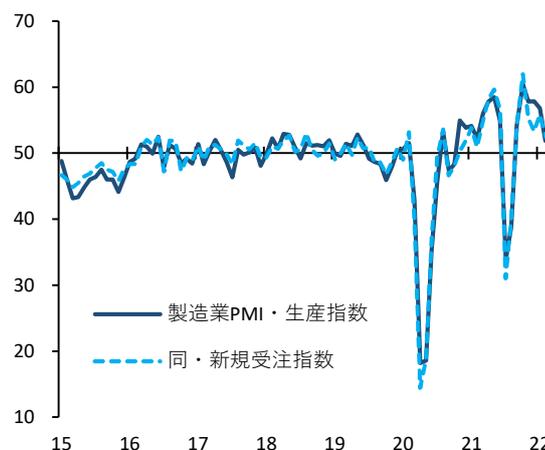
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 16: マレーシア



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 17: インドネシア



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 18: シンガポール



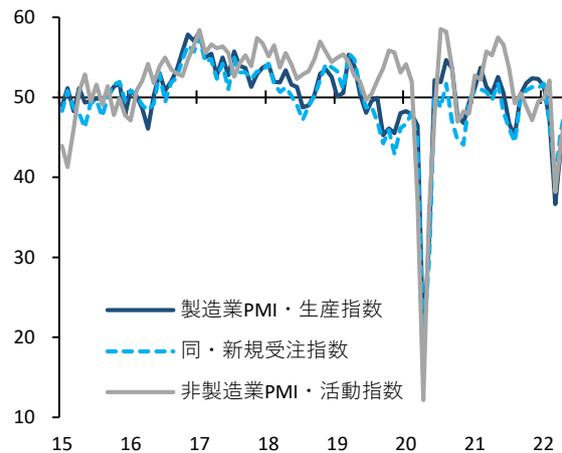
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 19: インド



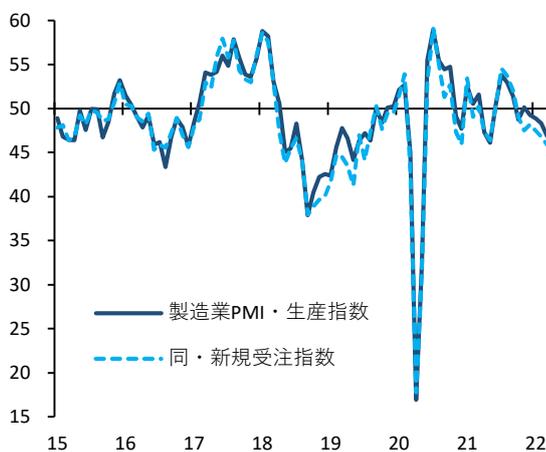
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 20: ロシア



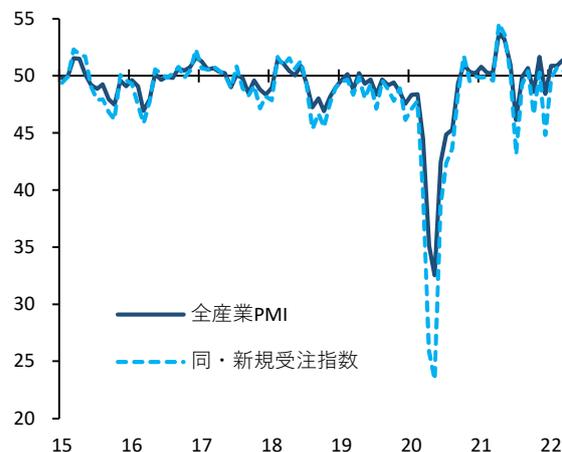
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 21: トルコ



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 22: 南アフリカ



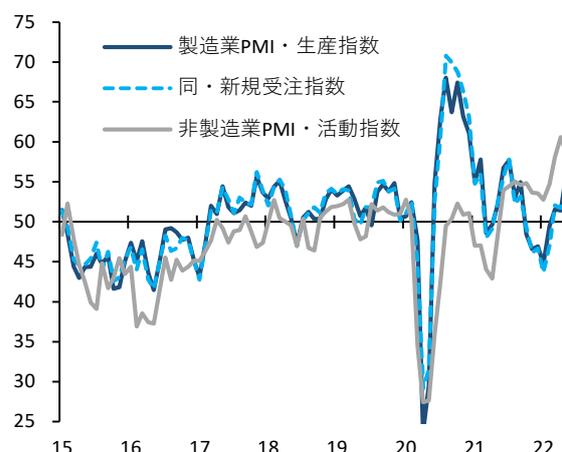
出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 23: メキシコ



出所: S&P Global、みずほ銀行

図表 24: ブラジル



出所: S&P Global、みずほ銀行

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。